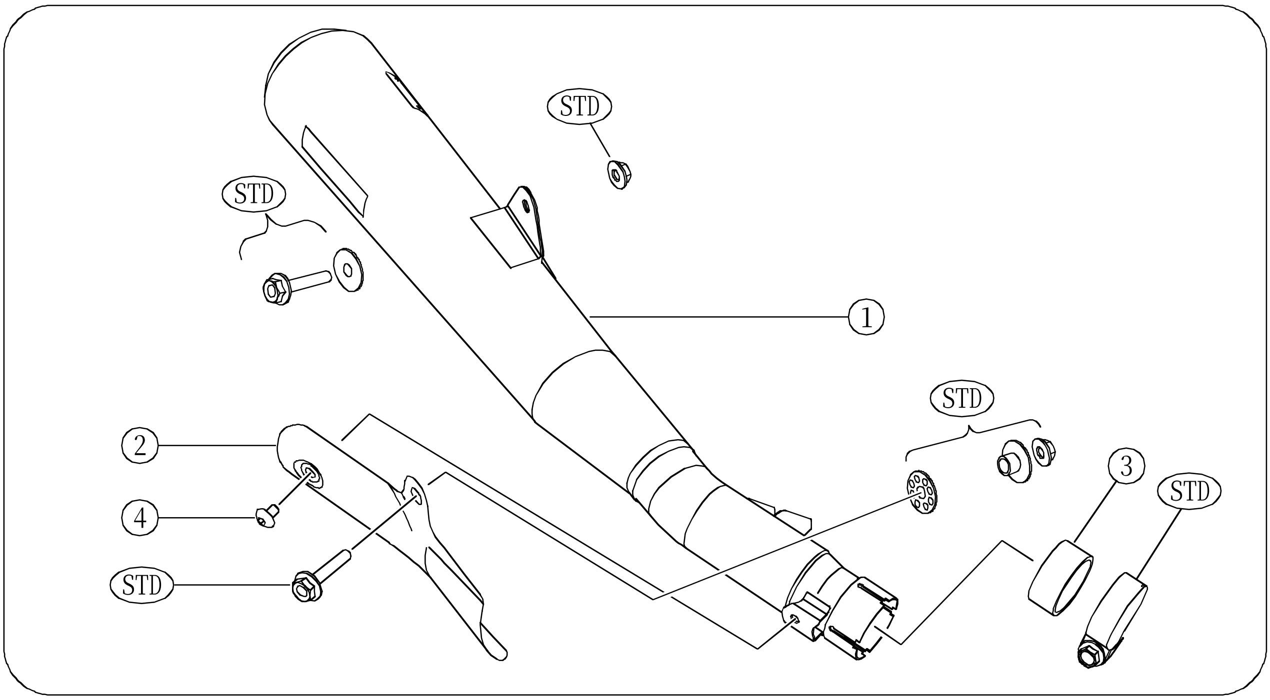
モリワキ

HONDA CB1100 '10 MEGAPHONE SLIP-ON

Part No. 01810-HL1G1-00



※図中「ＳＴＤ」とはメーカー純正部品のことであり、取り付けに流用します。

No.	部品番号	商品名	数	単価（税抜）	No.	部品番号	商品名	数	単価（税抜）
1	18100-HL1G1-00	テールパイプ COMP.	1	\65,000	4	97B000-06008	トラスネジ M6 x 8	1	\ 100
2	18941-HL1G1-00	ヒートカバー	1	\ 2,500		取扱説明書、純正触媒位置確認書		1	
3	18392-MG7-750	ガスケット 43x48x20	1	\ 710					

【製品仕様】

製品名	CB1100 ‘10 MEGAPHONE SLIP-ON	商品重量	2.7 kg（STD 5.1 kg）
適合機種	HONDA CB1100（EBL-SC65）	ｵｲﾙ交換	本製品脱着不要
ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ	純正状態	ｵｲﾙﾌｨﾙﾀ	本製品脱着不要
ｴﾝｼﾞﾝ仕様	純正状態	ｾﾝﾀｰｽﾀﾝﾄﾞ	使用可
排気音量	近接騒音 92dB 加速騒音 79dB	その他	純正排気触媒使用 EX.ﾃﾞﾊﾞｲｽﾀﾞｲﾔﾌﾗﾑ未使用
JMCA 認定番号	JMCA1110007026		

【取り付け工具】

ソケットレンチ，スパナ，メガネレンチ ・・・ １２mm　各１本
六角棒レンチ ・・・・・・・・・・・・・・・・ ５mm　１本
ラジオペンチ ・・・・・・・・・・・・・・・・ １本
プラスドライバー No.3＿・・・・・・・・・・・・ １本

⚠注意

① 作業する時は、けが、やけど防止のため、軍手を着用して下さい。
② 作業するときエンジンを十分冷ましてから行なって下さい。やけどする恐れがあります。
③ 走行時に脱落などのトラブルが発生しないよう、**各部の締め付けを十分確認**して下さい。
④ 走行中振動によりボルト類が緩むことがありますので、**定期的に増し締めを行って下さい。**特に転倒後には、緩みやすくなりますので必ず点検して下さい。
⑤ 取り付け後、排気漏れの確認等でエンジンを始動する場合、周囲の安全を確認し、また通気の良い場所で行って下さい。
⑥ 車両にスイングアーム、ステップ等の改造がありますと装着できない場合があります。**不正な改造によるマフラー破損等の返品はお受けしておりません**のであらかじめご了承下さい。
⑦ 転倒歴のある車両では、取り付けることができない場合があります。確実に取り付けることができない場合には本製品を使用しないで下さい。
⑧ ブラック塗装マフラーに関して
・マフラー装着後、最初のエンジン始動時は、アイドリングでマフラーからの煙が出なくなる(5 分～10 分)まで、徐々に熱を加え、その後、一度自然冷却して下さい。エンジン回転数を上げて急激な熱を加えると塗装を痛める原因となります。
・塗装は、十分に耐久性のあるものを使用していますが、過剰な使用状況によっては、はがれる場合がございます。

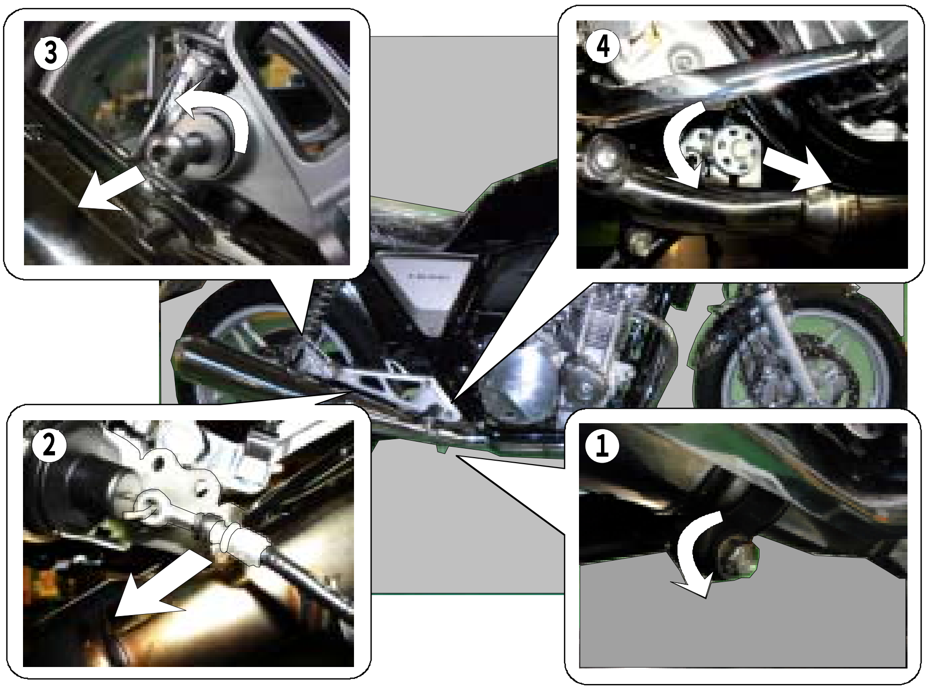
【純正部品の取り外し】

① マフラーバンドを緩める。

②ＥＸ．デバイスダイヤフラムからケーブルを取り外す。
🔧 ラジオペンチを使用して取り外す。
(14ﾓﾃﾞﾙ以降は EX.ﾃﾞﾊﾞｲｽが装着されていないため、この作業は不要です。)

③サイレンサー固定のボルトを外し、サイレンサーを取り外す。

④フレーム下部のステー固定のボルトを外す。



🔧 純正マフラーは非常に重いので、床に段ボールやマット等を敷き、落下時のキズ防止をお勧めします。

2【製品取り付け】

① ガスケットをマフラーにセットし、当社マフラーを差し込みます。
マフラーバンドを仮組みします。

② テールパイプステーをタンデムステップ側の取り付け部に純正のボルト、ナットで取り付けます。

③ 純正フロントパイプのフレーム下側ステーの取り付けボルトを一旦外し、ヒートガードを仮組みします。
ヒートガード後方の取り付け穴を**トラスネジ M6 x 8** にて仮組みします。



4【取り付け仕上げ】

以下の順序で本締めしていきます。

①マフラーバンドの
フランジボルト　M８ **<u>締め付けトルク(21[N･m]/2.1[kgf･m])</u>**

②マフラー後方（タンデムステップ側）
フランジボルト、フランジナット　M８ **締め付けトルク(22[N･m]/2.2[kgf･m])**

③フレーム下側
フランジボルト　M８ **締め付けトルク(22[N･m]/2.2[kgf･m])**

④ヒートガードのトラスネジ M6X8 **ネジロック剤の使用を推奨します。**

各ボルトナット類の締め忘れが無いか確認します。
エンジンを始動し各部の排気漏れが無い事を確認します。

エンジン排気ポート部分からの排気漏れがある場合は、今一度各部の締付けを緩め、エンジンポートくちに的確になじむように締付けなおします。

エンジン始動後１５分程度は慣らし運転を行って下さい(吸音材の慣らし)。この時、白い排気ガスや、サイレンサーの水抜き穴から水蒸気等が出る場合がありますが、性能上問題ありません。

5【セッティングについて】
モリワキストリート用マフラーは、すべてスタンダードの状態で性能が発揮されるように設計されています。
したがってマフラー装着にともなうインジェクションなどのセッティングの必要はありません。
もしマフラー交換に伴う性能悪化が見られるなら、まずエアクリーナーやプラグ等を整備してもう一度確認して下さい。

6【ＪＭＣＡについて】

全国二輪車用品連合会（ＪＭＣＡ）は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、国土交通省の指導のもと不法製品一掃とその製品に歯止めをかける活動をしています。

「ＪＭＣＡ認定プレート」にて認可されたマフラーは、（財）日本車輌検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、安全をみこした自主規制をも合格した製品です。

本製品は、純正マフラー部に排気触媒が装着されており、これを使用しているため、本製品の排出ガス試験結果証明書は、必要有りませんが、**車検時に排気触媒位置の有無について確認を受ける場合がありますので、同封の「純正触媒位置確認書」を持参してください。**

7【メンテナンスについて】

マフラーボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取り付け不良などを定期的に点検して下さい。

走行による汚れは、市販のピッチクリーナー等をご使用下さい。

本説明書は保管し、メンテナンス等の機会に活用するようにして下さい。

製品上の問題点、取り付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。



株式会社モリワキエンジニアリング

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5

Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152

Home Page http://www.moriwaki.co.jp